

ここが問題！リニア新幹線

2016. 1. 29発行 NO. 39 リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会 web-asao.jp/hp/linear

リニア残土の公共工事活用を推進、川崎・梶ヶ谷立坑から貨物線で臨海部に運ぶ残土はどこで処理

リニア新幹線工事による残土（建設発生土）は沿線全体で約6千万立方メートル。神奈川県では1, 140万立方メートル、そして川崎市内では407万立方メートル（東京ドーム3. 2杯分）にのぼる。JR東海や川崎市の説明によると、梶ヶ谷立坑（非常口）から排出される残土量はその6割にあたる260万立方メートルで、武蔵野南線（貨物線）で臨海部に運ぶ計画だ。どの程度の量を運ぶかは明らかにされていないが、市港湾局は「全量運ばれると考えている」（昨年11月、市議会環境委員会）としている。

市港湾局はまた、港に運ばれた残土は滞留せず直接船に積み替え搬出すると説明している。市港湾局は一昨年JR東海の要請で締結した協定に基づき、春までに

搬出する埠頭を特定しJR東海に直接交渉を提案するものとみられる。川崎港の埠頭の9割は民間企業の所有となっており、JR東海と企業との協議で搬出方法などが決まると思われる。ところが、最近になって、梶ヶ谷からのリニア残土を臨海部の東扇島の新たな埋め立てに使用したらどうかという提案が市に示されたという動きがあることがわかった。



放射能汚染土焼却灰が埋め立てられた浮島

市議会の一部政党からの提案であるという話だが、確かに、一昨年改訂された川崎市港湾計画では、『海面処分用地の必要規模』として、「港湾における廃棄物処理量は、港湾計画の目標年である平成30年代後半においても、現在供用している浮島2期地区廃棄物処分場で処分可能であることから、東扇島地区に位置付けた廃棄物処理計画を削除する」として、市内のごみ処分のための新たな埋め立ては行わないと明記している。しかし、そのあとの『浚渫土及び建設発生土の有効利用』では、「増加するコンテナ貨物に必要な港湾関連用地を確保するため、東扇島地区の13ヘクタールの土地造成において、浚渫土及び建設発生土等の有効活用を計画する」となっており、リニア残土の海面埋め立て利用計画が正式になれば、東扇島の海面が処分地になると考えるのが自然だ。前述の提案には、埋め立てた後は輸出用乗用車の一次保管地として使うなど具体的な利用方法も書かれているという。

港湾関係者の話では、貨車から船に直接積み替えるのは難しく、土砂の一次滞留地は必要との見解があり、埋め立てに使うとしたら滞留地は大規模になり、私たちが求めている新たな環境アセスが必要である。批判の多いリニア残土処分先の選定について、国交省の意を受けた動きが目立っている。

東京では公園の造成にリニア残土利用～葛飾区が計画公表

昨年12月18日の朝日新聞報道によると、東京・葛飾区は同月17日、葛飾区西小岩1丁目の新小岩公園を防災拠点にするため、リニア新幹線の工事で出土など約22万立方メートルを使って約6メートルかさ上げする計画を明らかにした。会見した青木克徳区長によると、リニア残土を活用して高台にすることを国土交通省から持ちかけられた。盛土については区の費用負担はない見込みという。

安倍首相、施政方針演説でリニア推進を表明（1月22日）

「夢の超特急、最先端技術の結晶」

1月4日召集された通常国会で、安倍晋三首相が22日、衆参両院の本会議で施政方針演説を行った。前半の地方創生への挑戦の部分で、リニア新幹線について、次のように述べた。

『昨年も関東・東北豪雨を始め自然災害が相次ぎました。堤防の強化対策、避難訓練の実施、的確な防災情報の提供など、事前防災・減災対策に徹底して取り組み、国土強靱化を進めてまいります。リニア新幹線が本格着工しました。東京と大阪を結ぶ夢の超特急、最先端技術の結晶です。3月に北海道新幹線が開業します。札幌へと工を進めます。九州新幹線も着実に

長崎へとつなげてまいります。東京から富山、金沢を貫く北陸新幹線も、奈良へと延伸するとして、大阪へとつながる回廊が生まれます。大阪や東京が大きなハブとなって、北から南まで、地方と地方をつないでいく「地方創生回廊」を創り上げ、全国を一つの経済圏に統合することで、地方に成長のチャンスを生み出してまいります』。

安倍首相はリニアの開業や北陸新幹線の延伸をもって、大阪・名古屋・東京の交通インフラの回廊が整備され、それによって地方が創生すると述べていますが、リニアが在来新幹線とは違う走行方式であることがネックになることや、災害時に物資輸送できないなど、リニアが物流に寄与しないことを説明していない。また、安全対策に不安があり、大電力を消費し、そのために乗客が強い磁界にさらされるリニア新幹線のどこが世界に誇れる「最先端技術」なのかと問いたい。

安倍首相は原発とリニアの輸出に熱心でトップセールスを続けているが、新幹線輸出について施政方針演説の後半の「一億総活躍社会の実現」の項で次のように述べた。

『50年で50億人を輸送し、死亡事故ゼロ。年間12万本を運行し、遅れは1分以内。新幹線技術は、日本が誇るイノベーションであります。トップセールスが実を結び、インドでその採用が決まりました。エネルギー、都市開発、日本には質の高いインフラがあります。J B I Cに新勘定を創設し、世界へと売り込んでまいります』。新幹線の輸出については、インドでは売り込みに成功したが、インドネシアでは中国に敗れ、アメリカ西部での建設でも中国に後れをとっている。

↓ 安倍首相の演説(日刊ゲンダイ)



アメリカのリニア調査費に8億円、政府が来年度予算に計上。最終的に5千億円供与？

政府はアメリカ・メリーランド州のホーガン知事から要請されたリニア新幹線建設のための調査費の一部8億円の拠出を決め、2億円を来年度予算に計上した。毎年2億円ずつ4年間で8億円の支出となる。ホーガン知事は連邦政府に対し調査費の支出を求め、総額3,475万ドル（約42億円）のうち2,760万ドル（約34億円）が認められた。4分の1は州の負担になるため、その分の負担を日本政府に求めていた。リニアの海外輸出のために国民の税金が使われることになる。

当面、ワシントンD. C. —ボルティモア（メリーランド州）間約60キロのリニア建設のための調査費や用地取得費として使われるが、建設費は1兆円と見積もられており、到底、連邦政府も州政府も負担できない。そのため、安倍首相は昨年2月の訪米の際、リニア技術の無償供与と5千億円の融資の考えを伝えている。この巨額融資が行われた場合、全額返済されない実質的に供与となる可能性が高いと見る専門家もいる。いずれにせよ、米政府は日本で開業しないうちにリニアを導入することは無いと見られている。

東京・神奈川連絡会～この1年の活動報告(下)

11月 4日 「ストップ・リニア！訴訟 川崎・町田市民キックオフ集会」

(18:15～麻生市民館大会議室、95名)

- 14日 「ストップ・リニア！訴訟 東京スタート集会
13:30～「夢のリニア超特急」CD完成記念
コンサート(大田区民ホール、60名)
18:00～訴訟スタート集会(同所)

15日 「溝のロフエスタ」リニア・秘密保護法・脱原共催

14:00～リレートークとチラシ350枚配布 (11月4日、川崎・町田訴訟キックオフ集会)

16日 フランス高速鉄道TGVの実験線で脱線事故、10人死亡報道(事故は現地時間14日発生)

21日 万葉九条の会コンサート&講演会(小森陽一氏)

15:50～終了後リニア訴訟参加チラシ配布

(新百合21ホール)

第50回定例会(18:00～多摩市民館)

22日 共産党大演説会(13:30～多摩市民館ホール)

当日資料にリニア訴訟参加要請チラシ折り込み

23日 第四回ストップ・リニア訴訟弁護団会議

(13:00～八王子総合法律事務所)

樫田秀樹氏JCCJ賞受賞記念講演会(岩波SR)

24日 市議会環境委員会でリニア陳情審議～継続審議

港湾調査報告で「リニア残土は埠頭で船に積み込むので仮置き場や埋め立てに使用しない」

28日 「景観と住環境を考える全国ネットワーク総会」

(10:00～エポックなかはら)

天野共同代表がリニア現状報告と訴訟参加要請

30日 日比谷野音集会・ピースパレードで訴訟チラシ100枚配布(伊藤清、山本=麻生・多摩の会)

12月 3日 市下水道局・渋川雨水貯留管トンネル見学会(15:00～渋川ポンプ場、11名参加)

6日 「月曜定例会」JR東海抗議行動参加(15:30～品川駅港南口)

伊藤(清)、山本(麻生)参加しスタンディング)

8日 安保法制反対川崎市民総がかり行動・デ(18:00～稲毛公園、チラシ300枚配布)

10日 第5回ストップ・リニア訴訟事務局会議、天野(13:00～愛知県保険医協会伏見会議室)

リニア新幹線を考える登山者の会第2回集会(19:00～モンベル御徒町店)

12日 訴訟チラシとリレートーク(14:00～新百合駅前)

15日 " (16:15～武蔵中原)

18日 JR東海が山梨県早川町の南アルプストンネル掘削口で起工式

第51回定例会(18:00～多摩市民館)、忘年会

21日 訴訟チラシ、リレートーク(16:00～宮前平駅)

22日 JR東海が麻生・多摩の会の質問に回答10:00～JR東海神奈川工事事務所川崎分室)

23日 訴訟弁護団会議(今回は株主代表訴訟について)(13:00～八王子総合法律事務所)



溝のロフエスタ(15日)

市内の立坑予定地の取得や整備状況・・・東百合ヶ丘、片平はJR東海が取得

JX等タカランド	現在もJXホールディングスが所有	予定地として整備は済んでいる	
JR貨物梶ヶ谷ターミナル	借地契約と見られる	既設倉庫の取り壊し終了。杭抜き作業へ	鉄道運輸整備機構、JR東日本と協議中
サンワ株式会社 本社・工場（宮前区）	現在も操業中。移転補償費用などで折衝中	現状に変化は見られない	
東百合ヶ丘3丁目 元JSR研究所跡地	JSRから大成建設が購入、昨年JR東海が買収	現状に変化は見られない	請負希望企業から工事実施計画の提案受付中
麻生区片平 鶴川総合運動場	昨年、国有地を民間に払い下げる国会承認	現状に変化は見られない	

JR東海の着工に向けての前のめりの姿勢に抗議して、2月27日に山梨県で抗議集会

JR東海は昨年12月18日に、山梨県早川町でリニア新幹線南アルプストンネル工事の起工式を行い、今月27日には品川地下駅工事の起工式を強行しました。また、今年度中には名古屋地下駅の着工を行うと表明しています。国民の目が届かない山奥や自社所有地内での工事を行い、リニア建設の既成事実化を図ろうとしている意図が見えます。私たちは、こうしたJR東海の姿勢に抗議するため、山梨県で抗議集会を開催します。多くの皆さんの参加をお願いします。

ユネスコ・エコパーク南アルプスにトンネルを掘るの?! 市民集会
安易なリニアトンネルに冷静な議論を!

2016年2月27日(土)13:30~16:45

場所:山梨県中央市玉穂生涯学習館

視聴覚ホール（中央市下河東1-1）

基調講演:

「南アルプスのトンネルはなぜ危険か」
伊那谷自然友の会常任委員、理学博士
松島信幸さん

ミニ講演:

「ストップ!リニア訴訟でたたかおう!」
リニア新幹線沿線住民ネット共同代表
リニア・市民ネット山梨代表

あの 金子勝氏が川崎で講演



慶応大学経済学部教授でTBSテレビ『サンデー・プロジェクト』のコメンテーターとして活躍中の金子勝さんの講演会が来月川崎で開催されます。

『これから良くなる?雇用と暮らし』

2016年2月26日(金)18:30~20:40

エポックなかはら7階大会議室 参加費500円

アベノミックス株価は上昇しましたが、原油安・中国経済の減速・円高の影響で年初以来株価は大幅に下落、投機への国民の年金投入で9兆円が失われたと言われます。アベノミックスの総括がないまま、安倍首相は「新3本の矢」を打ち出しGNP600兆円の達成、出生率1.8人の実現、介護離職ゼロなどの政策を掲げました。しかしどれも目標であり、どのように実現するのか、財源はどこからという過程は不透明です。金子教授がアベノミックスの実態に鋭く迫ります。

事前申込み~

090-1844-8455 (桜田さん)

ここが問題!リニア新幹線NEWS NO. 39

発行:リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会
天野捷一(中原・高津)090-3910-8173
山本太三雄(宮前) 090-8775-1879
矢沢美也(麻生・多摩)090-6108-6568